

# 「一般財団法人越前おおの観光ビューロー」について

- 1 設立日 令和5年9月1日（決算期：3月）
- 2 基本財産 300万円  
（出捐：観光協会200万円、商工会議所50万円、越前信用金庫50万円）
- 3 事務所 大野市元町10-23
- 4 設立時役員  
理事長 大谷 誠治（現観光協会会長）  
副理事長 藤堂 規行（現観光協会副会長）  
理事 飯田俊市郎（商工会議所専務理事）  
理事 佐々木成充（越前信用金庫常勤理事）  
理事 林 広二郎（大野市地域経済部長）  
理事 巢守 和義（福井和泉リゾート株式会社代表取締役）  
監事 林 幹雄（税理士）、竹内 宗義（税理士）
- 5 設立時評議員 石山 志保（大野市長、評議員長）  
稲山 幹夫（商工会議所会頭）  
南保 勝（仁愛大学人間学部教授）
- 6 設立目的  
当法人は、大野市における地域資源を活かし、市内事業者および行政と連携して、観光客の誘致や地場産品の販路拡大等に関する事業を行うことで、観光関連産業の振興、事業者の稼ぐ力の向上および交流人口の拡大に努め、持続可能な観光地域づくりに寄与することを目的とする。

# 令和6年度（一財）越前おおの観光ビューロー取組み概要

## ◆スローガン

観光で、大野の元気をデザインする。

## ◆R6年度 ビューローの取組み

### 自主事業

#### 1. 結ステーション周辺区域での観光消費額増大

- ・結楽座でのシーズンナブルフェアの実施(開店セールも実施)
- ・結楽座品揃え・レイアウト変更による土産品販売強化
- ・ふるさと納税中間業務への介在事業

#### 2. 洋館スペース活用

- ・ツアーお休み処として軽飲食提供

#### 3. 旅行業者との連携による収益事業の立上げ等

- (1)旅行業事業への準備(旅行業務取扱管理者の資格取得者の雇入れ、又は資格取得した職員抜擢)
- (2)旅行商品コンテンツ造成
  - ・「荒島の郷」発着の観光シャトルバスツアーにおけるコンテンツ
  - ・JR福井駅発着の観光バスツアーにおけるコンテンツ
- (3)教育旅行商品の造成(着手)
  - ・From/To大野市交通手配
  - ・大野市宿泊手配
  - ・大野市旅行相談
- (4)インバウンド旅行者への当地対応サービスの積極的売込み営業

推進

## ◆R7～10年度 ビューローの取組み

R10年度 目指す姿:

大野市来訪者の観光消費額増大を図り、大野市内事業者の収益拡大に貢献する

- ✓ 中部縦貫自動車道開通・北陸新幹線開業に伴う大野市へ観光誘客を促進
- ✓ 天空の城や星空を活用した宿泊付き観光ツアーの造成
- ✓ 福井駅発着型の観光バスツアーの造成
- ✓ 旅行業登録による旅行相談や体験プログラム、宿泊斡旋等の実施
- ✓ レンタカーやレンタサイクルを活用した道の駅「越前おおの 荒島の郷」からの交通手段の充実
- ✓ 観光・集客イベントの開催、事業者と連携した商品開発
- ✓ インバウンド富裕層の強力な誘客、対応サービスの企画運営
- ✓ 飲食店・土産品店とタイアップした結楽座での委託販売
- ✓ テナント貸しやシェアキッチンを含めた「洋館」での飲食提供
- ✓ 空家等再生(一棟貸宿、貸店舗の運営等)
- ✓ 観光業を担う人材の育成
- ✓ 観光誘客に係るPR等の業務受託

旅行企画・販売

観光イベント  
企画実施

特産品販売  
飲食提供

観光施設運営

マーケティング  
ブランディング

観光PR

### 主な委託事業

#### 1. 観光PR

- ・観光パンフ管理業務
- ・出向宣伝/商談会業務
- ・ワンハンドグルメ推進業務

#### 2. 観光客受入れ環境整備

- ・大野城受付業務
- ・輝センター観光案内業務
- ・結ステーション指定管理受託

#### 3. 観光イベント

- ・冬物語実行委員会結成と運営

## ◆目標数値

①宿泊客数	150千人	67千人
	(市目標R8年)	(R4年)
②観光消費額(日帰り客一人当たり)	5,000円	3,704円
	(市目標R7年)	(R4年)
③観光入込客数	3,500千人	2,056千人
	(市目標R8年)	(R4年)
④来訪者満足度	4.50(5段階評価)	4.20
	(独自目標R10年度)	(R4年度)
⑤リピーター率	65.0%	55.4%
	(独自目標R10年度)	(R4年度)
⑥観光ビューロー物販売上額	9千万円	5千万円
	(独自目標R10年度)	(R4年度)